

新型コロナウイルス感染症ガイドライン

玉名女子高等学校
学校保健部

今回、「新型コロナウイルス感染症」の対策として、本校も生徒の皆さんの安全を第一に考えて感染対策を実施します。

現在、本校関係者からの感染者は出ていない状況ではありますが、今後感染者が出る可能性は十分考えられます。症状がないからといって、学校生活の中で気が緩んでしまっただけではありません。各自の感染予防の対策を引き続き行うことが大切です。

1) 毎朝、登校前に必ず自宅で検温し健康チェックを行う

→発熱、咳等の風邪症状があれば登校しない

※37.5℃以上または平熱より1℃以上高い場合、風邪症状がある場合は保護者から学校へ連絡の上、登校を見合わせる。同居の家族に同様の症状がみられる場合も同じとする。

もし、自宅で検温をし忘れた場合は、教室には入らず保健室または職員室で検温をする。

※感染が心配される場合は、相談センター（保健所）またはかかりつけ医へ問い合わせ受診する。

2) マスクを着用する

・登下校時、学校生活時はマスク（手づくりマスク等）を着用する。

※マスクは校内で捨てず、必ず各自持ち帰ること

＜正しいマスクのつけ方＞

- ① 鼻と口の両方を確実に覆う
- ② ゴムひもを耳にかける
- ③ 隙間がないよう鼻まで覆う

3) 手洗いの徹底（石けん等を使用して少なくとも20秒以上かけて流水で洗う）

教室へ入る前、トイレの後、食事の前後等、こまめに手洗いを行う。洗った後は清潔なハンカチ・タオルで水気を取り、ハンカチ・タオルの共有はしない。

※手洗いができない場合は手指アルコール消毒を利用する

4) 消毒の実施

・多くの生徒が触れる場所を、1日1回以上消毒液を使用し清掃する。（環境美化委員・掃除担当者など、配布している物品や消毒用スプレーを使用）

5) 3密を避ける

・近距離での会話を避ける。密集した空間をつくらないようにする。

・昼食時は、自分の席で（同一方向を向いて）食事する。（できるだけ水筒を持参する）

・2方向のそれぞれ1つ以上の窓（対角線上の窓を開ける）を広く開けて換気を行う。風通しのいいように意識する。授業中は常時窓を開けて換気を徹底する。休み時間等窓を全開できる場合は全開にする。体育館のような広く天井の高い部屋でも換気を行う。雨天時は雨が入り込まない程度に開けておく。

・①換気の悪い密閉空間②人が密集してる場所③近距離で会話や発声が行われた、など3つの条件の重なる場所には行かないこと（不要不急な外出は控え、人混みは避ける）

* 規則正しい生活を送り、十分な睡眠時間をとるなどして自身の健康を管理をしましょう。もし、体調が悪くなったり心配なことがあったりした場合は、1人で抱え込まずに周囲の人に相談するようにしましょう。